年　表

月	国際協力事業団に関する主な事項	国際協力に関する主な事項	
		日　本	世　界
4月	2　総裁主催，在京アフリカ各国大使等との懇談会（於TIC幡ヶ谷） 6　アメリカ合衆国事務所開所式	5（～23）日本政府，南米のアルゼンティン，チリ，ウルグァイに経済使節団を派遣。同地域の経済情勢，経済政策，産業構造，産業政策，資源エネルギー事情等を調査 9（～12）コモロのアブダラ大統領来日。政府首脳，アフリカ経済開発議連，関連企業代表等と懇談。経済協力問題等について意見交換 12（～18）国際農業研究協議グループ（CGIAR）ファーラー事務局長来日。国際農業研究の発展及びCGIARとの協力関係促進のため，外務省，農水省関係者と会談	6（～7）対ソマリア援助国会議開催（於パリ）。主催：世銀。同国経済の現状，開発戦略，公共投資計画，ジュバ渓谷開発計画，援助調整等について協議 6（～16）国連人間居住委員会開催（於ナイロビ）。80カ国参加 7　第46回トルコ・コンソーシアム会合開催（於パリ）。主催：OECD，日本は今次会合より，正式参加 8　先進5カ国蔵相，中央銀行総裁会議（G5），先進7カ国蔵相，中央銀行総裁会議（G7）開催（於ワシントン）。パリ合意再確認の共同声明発表 10　第31回世銀・IMF合同開発委員会開催（於ワシントン）。累積債務，構造調整と貧困問題，一次産品問題と先進国農業政策等について論議

月	国際協力事業団に関する主な事項	国際協力に関する主な事項	
		日　本	世　界
4月	14　グァテマラのカルピオ副大統領来訪，総裁と会談 14　青年海外協力隊昭和62年度第1次隊派遣前訓練入所式 15　青年海外協力隊昭和62年度春募集（4.15～5.31全国各地で募集説明会開催） 21　アフリカ民族会議（ANC）オリバー・タンボ議長，TIC（幡ヶ谷）を訪問 21(～23)　第28回海外日系人大会（主催：海外日系人協会，後援：JICA，外務省他） 22　世界銀行稲蔭副総裁来訪，総裁と会談 24　ブータンのツェリン外務大臣来訪，総裁と会談 24(～5.2)　高潮災害のモルディヴに国際緊急援助隊を医療状況調査のため派遣	13(～18)　サウディ・アラビアのナーイフ内務大臣，外務省賓客として来日。政府首脳と両国関係強化，国際情勢に関して意見交換 23　政府，ブータンと青年海外協力隊員派遣取極締結(於外務省)	14　トルコ，EC加盟申請 20(～25)　77カ国グループ第6回閣僚会議開催（於ハバナ） 21(～25)　対バングラデシュ，パキスタン，ネパール援助国会議開催（於パリ）。主催：世銀。各被援助国の経済開発の現状と今後の見通し，及び各援助国，国際機関の援助政策の説明，援助調整等について協議 21(～30)　第43回国連アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）開催。（於バンコック）。総合人造り行動計画の策定，後発開発途上国（LLDC）のための1980年代新実質行動計画の早期実施等を決議

月	国際協力事業団に関する主な事項	国際協力に関する主な事項	
		日　　本	世　　界
4月			27(～29)　第20回アジア開発銀行（ADB）年次総会開催（於大阪）。日本政府はADB日本基金創設構想を発表（JICA村山理事出席）
5月	1　フィリピン国別援助研究会，報告書をまとめ，対比援助に17項目の提言	3（～5）　第2回日韓外相定期協議開催（於ソウル）。朝鮮半島情勢，漁業問題，貿易不均衡問題等を討議	4（～15）　国際保健機関（WHO）第40回総会開催（於ジュネーブ）
	7　国連貿易開発会議（UNCTAD）ダッジー事務局長来訪。総裁と会議	5（～9）　UNCTADダッジー事務局長来日。UNCTAD VIIで取り上げられる途上国貿易開発問題を協議	9（～10）　メキシコで日本人移住90周年記念式典開催（於メキシコ市）。高円宮・同妃殿下ご臨式。JICAから，荒勝副総裁が出席
	10　昭和62年度青年招聘事業の第1陣163人が来日		
	11(～19)　昭和62年度在外事務所長会議開催		12(～13)　OECD第26回閣僚理事会開催（於パリ）
	17(～20)　山林火災の中国に国際緊急援助隊を被害状況調査のため派遣	17(～23)　政府，ユーゴーへ経済交流促進ミッション派遣。両国間産業協力の促進を図るため，ユーゴー政府及び関係企業要人と意見交換	
	19　総裁主催，在京中南米各国大使等との懇談会（於TIC幡ヶ谷）		21(～22)　対ザイール援助国会議開催。主催：世銀。同国の経済動向，構造調整計画，公共投資計画及び援助調整について協議
	22　モンゴルのドゥゲルスレン外務大臣来訪，総裁と会談	22(～27)　メキシコのサリーナス予算企画大臣来日。世界経済，メキシコ経済について意見交換	
	25　象牙海岸のトレッシュビル大学病院ベダ博士来訪，総裁と会談		

月	国際協力事業団に関する主な事項	国際協力に関する主な事項	
		日　　本	世　　界
5月			26(～6．19)　第34回国連開発計画（UNDP）管理理事会開催（於ニューヨーク）。1988/89年度予算案，国別計画等を審査
		28(～6．4)　ウガンダのムキイビ外相，外務省賓客として来日。日本よりの一層の経済・技術協力，貿易拡大等を要請	
		29(～6．4)　アルゼンティンのコルドバ州アンヘロス知事，同州と日本の経済交流の促進のため，同州経済ミッションを率いて来日	
		29　政府，経済対策閣僚会議で，緊急経済対策を決定 ① ODA 7年倍増目標の2年繰り上げ達成 ② 200億ドル以上の資金還流 ③ 対アフリカ等への5億ドル無償援助	
		30　外務省，1986年の政府開発援助（ODA）実績（速報値）を発表。前年比48.4%増で56億3400万ドル対GNP比で前年と同率の0.29%	

月	国際協力事業団に関する主な事項	国際協力に関する主な事項	
		日　本	世　界
6月	1（～7．10）昭和62年度海外開発青年募集 1　アルゼンティンのコルドバ州アンヘロス知事来訪。総裁と会談 1　ウガンダのムキイビ外務大臣来訪	1（～5）政府，対フィリピン経済協力総合調査団（大来ミッション）派遣。今後の援助の基本的方向付けに関して，意見交換	8（～10）第13回先進国首脳会議開催（於ベネチア）。ODAの重要性，ベーカー構想への支持，サハラ以南アフリカ問題等を「経済宣言」で言及。日本政府の緊急経済対策を評価 8（～11）世界食糧理事会（WFC）第13回年次会議開催（於北京）。食糧安全保障・開発への国際農業貿易政策の影響，食糧農業分野における途上国間協力の強化等を中心に審議 9（～11）第23回アフリカ開発銀行（AfDB），第14回アフリカ開発基金（AfDF）合同年次総会開催（於カイロ） 9（～13）非同盟諸国閣僚特別会議開催（於平壌）

月	国際協力事業団に関する主な事項	国際協力に関する主な事項	
		日　本	世　界
6月		11(～13)　倉成外相，モロッコ訪問。国際情勢及び二国間関係（経済・技術協力）につき協議 14(～16)　倉成外相，イラン訪問。イラン・イラク紛争，湾岸安全航行等国際問題を中心に論議	15(～19)　国連アフリカ経済委員会(ECA)，特別会議開催（於ナイロビ)。「アフリカ経済復興と開発促進への挑戦」 15(～20)　第20回東南アジア諸国連合（ASEAN）外相会議，引き続きASEAN拡大外相会議開催（於シンガポール) 16(～17)　第9回開発援助委員会（DAC）評価専門家会合開催（於パリ）
	18　海外移住の日 23　青年海外協力隊運営委員会開催	21(～23)　倉成外相，フィリピン訪問。アキノ大統領と会談	18(～19)　南アジア地域協力連合(SAARC)閣僚理事会開催（於ニューデリー）
	24　グァテマラのエストラダ農牧大臣来訪。総裁と会談	26(～28)　第5回日中定期閣僚会議開催（於北京）	24(～25)　DAC合同審査会合開催（於パリ)。1986年のDAC諸国ODA実績を中心に，今後の見通しについて意見交換。その他開発途上国の構造調整支援実施に関する問題，累積債務問題，ローカル・レベルでの援助調整実施方法等を協議

月	国際協力事業団に関する主な事項	国際協力に関する主な事項	
		日　本	世　界
7月	7(～18)　第7回国際協力事業紹介セミナー開催。オセアニア，アジア12カ国から経済技術協力受入れ窓口機関の責任者が参加		9(～8．3)　第7回UNCTAD開催（於ジュネーブ)。開発のための資源，一次産品，国際貿易，及び後発開発途上国（LLDC）の4議題のもとに討議，最終文書を採択
	14　青年海外協力隊昭和62年度第1次隊派遣壮行会		11　国連人口活動基金（UNFPA）が11日を「世界人口50億人の日」に設定 20(～29)　アフリカ統一機構（OAU）閣僚会議，首脳会議開催(於アディスアベバ)。アフリカの対外債務問題，南ア制裁，ナミビア，アフリカ経済共同体設立等について決議
	22(～23)　JICAケニア事務所，現地の報道関係者を対象にJICA協力現場へのプレスツアー実施	23　政府，ヴァヌアツと青年海外協力隊派遣取極締結（於ポート・ヴィラ） 30(～31)　日本・アルゼンティン協力中長期展望会議第2回全体会議（賢人会議）開催（於東京)。日ア関係全般，文化関係，科学技術関係，経済関係等を幅広く討議	22(～23)　日本・ASEANフォーラム第9回会合開催（於マラッカ市)。貿易，一次産品，投資，産業協力，経済・技術・文化協力等の諸議題を討議

月	国際協力事業団に関する主な事項	国際協力に関する主な事項	
		日　本	世　界
8月	1　JICA設立記念日		
		2(～4)　アルゼンティンのカプート外相来日。日本政府が提案した対途上国資金フロー促進方策検討のための賢人グループの設立，一次産品問題に関する円卓会議の設置，及び対途上国資金還流計画を高く評価	
	3　JICA設立13周年記念式典開催		5(～7)　ADB主催「太平洋援助シンポジウム」(於オークランド)。南太平洋域内ADBメンバー諸国の開発戦略問題を考察
		7　政府，インドネシアと青年海外協力隊派遣取極締結（於ジャカルタ）	
	10(～11)　JICAタイ事務所，在タイ日本大使館OECFとの3者共同で，現地報道関係者を対象とした，バンコック周辺及び東北タイの協力事業現場へのプレスツアーを実施	10(～15)　倉成外相，インド，スリ・ランカ，バングラデシュを歴訪，SAARCへの支持表明等，南西アジア地域諸国との関係強化に尽力	
		23(～28)　南太平洋フォーラム（SPF）コロネ議長（西サモア首相），外務省賓客として来日。南太平洋経済協力機関（SPEC）ナイサリ事務局長も同行。日本と南太平洋諸国の相互理解の促進に努力	

月	国際協力事業団に関する主な事項	国際協力に関する主な事項	
		日　　本	世　　界
8月	26　西サモアのコロネ首相来訪。総裁と会談 26　タイのタウィサン国王秘書官長来訪。総裁と会談 27　タイ国別援助研究会発足，第1回会合開催 27(～9．5)　洪水災害のバングラデシュに国際緊急援助隊を医療状況調査のため派遣 28　ASEAN青年招聘第5陣の一行139人が総理官邸に中曽根総理を表敬訪問。ASEAN各国在京大使，総裁，受入民間団体関係者等も列席	26　第109臨時国会において,「国際緊急援助隊の派遣に関する法律」が成立。9月16日より公布施行される 26(～27)　外務省，昭和62年度中近東地域統合担当官会議及び官民合同会議開催（於ウィーン)，イラン・イラク紛争等政治問題，経済協力問題，国際石油・エネルギー等経済問題，文化・人的交流問題等について広く意見交換(JICAより中曽根理事出席) 30(～9．2)　外務省，インド経済技術協力評価調査団を派遣	
9月		1(～2)　外務省，昭和62年度アフリカ大使会議開催(於パリ)。アフリカの政治・経済情勢とわが国の対応，人物交流・広報・文化問題，外交実施体制の強化策等を討議	

月	国際協力事業団に関する主な事項	国際協力に関する主な事項	
		日　　本	世　　界
9月		5　外務省,「1986年におけるわが国の開発途上国に対する資金の流れ」を新聞発表。支出総額（純額）148億900万ドルで前年比27.5%増加。ただし円ベースで前年比10%減。対GNP比は前年の0.87%から0.75%へ減少 6（～9）　UNDPドレーパー事務局長来日。わが国のUNDPの活動に対する一層の協力と資金援助を要請	
	8　タンザニアのムカパ外相，国連開発計画（UNDP）ドレーパー事務局長来訪，総裁と会談 11　ザンビアのムソコトワネ首相来訪。総裁と会談。TIC幡ヶ谷視察	8（～19）　南西アジア青年招聘計画のもとに，インド，パキスタン，バングラデシュ，スリ・ランカ，ネパール，モルディヴ，ブータンから49人の青年が来日。日本・SAARC間の相互理解と交流の増進に貢献 15（～25）　外務省，日・タイ経済技術協力合同評価にかかる事前調査団を派遣 18（～20）　倉成外相，イラク訪問。イラン・イラク紛争の早期解決のための環境造り，日本・イラク二国間関係について，意見交換	15（～12．21）　第42回国連総会（於ニューヨーク） 15　コチア産業組合中央会創立60周年記念。JICAも式典に参加（於サンパウロ）

月	国際協力事業団に関する主な事項	国際協力に関する主な事項	
		日　　本	世　　界
9月		20(～21)　倉成外相，ジョルダン訪問。中東情勢及び二国間関係強化の方途につき，意見交換 25(～27)　中曽根総理大臣，タイ訪問，日・タイ修好百周年記念式典に出席。アジアの発展に対するわが国の協力の中・長期的指針・方向を表明 26(～30)　倉成外相，中南米3カ国（ドミニカ共和国，ヴェネズエラ，グァテマラ）を訪問。二国間関係，中米紛争，累積債務問題について意見交換。わが国の資金還流措置の中南米地域への重点的配分等を説明	24　米上院本会議が開発途上国向けの日本のODAを1992年までにGNPの3％に増加するよう求める非拘束決議可決（96：1） 26　先進5カ国蔵相・中央銀行総裁会議（G5）及びG7開催（於ワシントン） 27(～10．1)　第42回世銀・IMF合同年次総会開催（於ワシントン）。経済政策協調，為替安定問題，累積債務，構造調整ファシリティー資金拡充問題等を討議 28　第32回世銀・IMF合同開発委員会開催（於ワシントン）。サハラ以南アフリカの債務問題，累積債務中所得国問題，世銀一般増資問題等を中心に議論
	29　「日中青年の友情計画」中国青年の一行100人が中曽根総理を表敬訪問。在京中国大使，総裁，民間団体関係者等も列席	29　政府，グァテマラと青年海外協力隊派遣取極締結（於グァテマラ・シティ）	

月	国際協力事業団に関する主な事項	国際協力に関する主な事項	
		日　本	世　界
10月	1　中国の「日中青年の友情計画」孫家昶総団長来訪。総裁と会談 1(～15)　国際協力キャンペーン（国内支部を拠点とする講演会，セミナー，映画会，写真展等集中的広報行事） 5　タイのシリラッナ技術経済協力局長，イエメンのアルリャニ副首相来訪，総裁と会談 6　「国際協力の日」――記念フォーラム（於ニューオータニ）。JICA主催。外務省，NHK後援。国際協力に対する国民の理解と支持を喚起 6(～17)　洪水災害のヴェネズエラに国際緊急救助隊を調査目的で派遣 9　南西アジア地域大使とJICA幹部懇談会 12(～23)　南西アジア在京大使館援助窓口責任者を対象に無償資金協力事業紹介セミナー 15(～11．30)　青年海外協力隊昭和62年度秋募集	6　政府は本年より10月6日を「国際協力の日」と閣議決定 9(～11)　「アフリカ・カルチャー・フェア'87」開催。主催：アフリカ協会，国際文化協会。アフリカの生活文化を中心に紹介 12(～17)　スーダンのマハディ首相来日。ノンプロジェクト無償資金協力，資金還流計画による経済協力，投資促進等を日本側に要請	2　開発途上国27カ国の経済人，政治家，学者が，開発途上国間協力の指針と行動案づくりをねらいとする賢人グループ「南委員会」(座長：ニエレレ元タンザニア大統領)を発足(於ジュネーブ)

月	国際協力事業団に関する主な事項	国際協力に関する主な事項	
		日　　本	世　　界
10月	20(～22)　アジア地域在外無償資金協力業務セミナー開催（於バンコック）		19(～29)　国連食糧農業機関（FAO）世界食糧計画（WFP）の食糧援助政策計画委員会（CFA）第24回会合開催(於ローマ)。緊急食糧援助，開発援助プロジェクトの審査・承認，食糧援助の換金化問題等を審議 26(～30)　国際農業研究協議グループ（CGIAR）年次総会開催（於ワシントン)。ヴィタミン・ミネラル源としての蔬菜，たんぱく源としての水産養殖を新規研究課題として検討
11月	4　北九州国際研修センター（仮称）基本設計完了 4(～6)　アフリカ地域無償資金協力実施促進業務セミナー開催（於ナイロビ）	1(～15)　東欧諸国及びユーゴーからの青年招聘計画に基づき，東独青年10人訪日，引き続き12月にかけてポーランドから10人，ユーゴーから25人訪日 2(～13)　中近東青年招聘計画に基づきアルジェリア，モロッコより青年10人を招聘，対日理解の推進を図る	3(～4)　第3回SAARC首脳会議開催（於カトマンズ） 7　国連教育科学文化機関（UNESCO）第24回総会でマイヨール元スペイン教育科学相を新事務局長に選出（於パリ）

月	国際協力事業団に関する主な事項	国際協力に関する主な事項	
		日　　本	世　　界
11月			7（～27）　第24回FAO総会開催（於ローマ）。財政危機問題対策。FAO運営のあり方のレビュー。世界食糧農業情勢の分析評価等を審議
	9（～18）　第2回帰国研修員同窓会代表者セミナー，JICA事業との連携強化を目的に開催（於TIC幡ヶ谷）		9（～13）　第2回国連工業開発機関（UNIDO）総会開催（於バンコック）。工業開発協力に対する新しい概念とアプローチ，工業開発のための技術能力の強化，人的資源開発等の諸問題を審議 9（～14）　第17回米州機構（OAS）通常総会開催（於ワシントン）。中米問題，人権問題等を論議
	15　皇太子殿下，同妃殿下が沖縄国際センターをご訪問。研修授業風景等をご視察 20　コロンボ・プラン，シャインバーム事務局長来訪	17（～18）　第10回日墨経済合同委員会開催（於メキシコ市）。メキシコ経済，両国経済関係のレビュー，今後の見通しにつき意見交換 23（～24）　第5回日本・イラク合同委員会開催（於バグダッド）。両国間経済関係，経済技術協力実施状況のレビュー，今後の協力関係強化を図るうえの問題点等について意見交換	15（～16）　南部アフリカ前線6カ国首脳会議開催（於ルアンダ）

月	国際協力事業団に関する主な事項	国際協力に関する主な事項	
		日　　本	世　　界
11月	25　国際協力センター（ICC）竣工式	24(～26)　イランのヴェラヤティ外相，外務省賓客として来日，二国間問題を協議。イラン・イラク紛争，ペルシャ湾情勢等についても意見交換	
		27(～28)　第6回日印貿易協議開催（於デリー）。インド産品の対日輸出増大のため協力，インドの輸出能力強化に対するわが国の協力等について協議	27(～29)　中南米8カ国（リオ・グループ）首脳会議（於アカプルコ）。累積債務問題，中南米共同市場設立，中米和平問題等を討議し，「平和・開発及び民主主義のためのアカプルコ合意」を採択
	30　第6回青年海外協力隊運営委員会開催		30(～12．1)　OAU経済サミット開催（於アディスアベバ）。アフリカの対外債務問題に関する「宣言」「アフリカの共通ポジション」の採択
12月	1　青年海外協力隊第2次隊員派遣壮行会		1(～2)　1987年DAC上級会合開催（於パリ）。主としてサハラ以南アフリカを中心とした構造調整問題及び援助調整を討議 1(～3)　関税及び貿易に関する一般協定（GATT）第49回総会開催（於ジュネーブ）
	2(～4)　中南米地域無償資金協力業務セミナー開催（於ブエノスアイレス） 3　第19回海外医療協力委員会開催	2　政府，ジャマイカと青年海外協力隊派遣取極を締結（於キングストン）	

月	国際協力事業団に関する主な事項	国際協力に関する主な事項	
		日　　本	世　　界
12月			4　スリ・ランカ特別援助国会議開催（於パリ）。主催：世銀。民族紛争により疲弊したスリ・ランカ経済の復興援助計画を支援
	7　「21世紀のための友情計画」に基づき，韓国青年招聘第1陣100人来日。宇野外相を表敬訪問。在京韓国公使，副総裁，協力団体関係者等も列席		7（～10）ESCAP総合人造り行動計画策定のための専門家会合開催(於東京)。雇用と人材開発，科学と技術，生活改善の3分野での人造りを討議
	8（～10）太平洋地域別会議開催（於シドニー）		
	10　国際親善の集い（於ニューオータニ）		
	11　中近東地域大使とJICA幹部懇談会		
		15(～16)　竹下総理，フィリピン訪問。日・ASEAN首脳会議に出席(於マニラ)。今後3年間で200億ドルを下回らない「ASEAN日本開発ファンド」の供与を表明。具体的協力内容は官民資金からなる投資基金の創設による，対ASEAN投資の促進と，一般アンタイド円借款及び日本輸出入銀行資金を用いたツー・ステップ・ローンの活用	14(～15)　第3回ASEAN首脳会議開催（於マニラ）
	23　インド国別援助研究会発足，第1回会合開催		21　第42回国連総会閉会（於ニューヨーク）。「国際自然災害軽減の10年」(1990年代)決議。その他対外債務問題，開発事業活動，アフリカ国連行動計画，ビルマのLLDC認定等の経済問題を審議

月	国際協力事業団に関する主な事項	国際協力に関する主な事項	
		日　本	世　界
1月	8　柳谷謙介新総裁就任		
			14(～15)　パナマ運河代替案調査委員会第5回理事会開催（於パナマ）
	18(～27)　技術協力センタープロジェクト，産業開発協力プロジェクト合同リーダー会議開催		
	20(～26)　台風災害のヴィエトナムに国際緊急援助隊を医薬品供与と被災状況調査のため派遣	20(～22)　外務省，昭和62年度中南米大使会議開催(於東京)。わが国の対中南米外交，中米問題，累積債務問題，経済技術協力，移住等中南米情勢の展望等について論議	
	22　国連人口活動基金（UNFPA）サディク事務局長来訪。総裁と会談		
		25(～26)　「太平洋地域の石油及び石油代替エネルギーの開発利用に関するシンポジウム」開催（於東京）。主催：外務省，通産省，エネルギー総合推進委員会等7者。アジア・太平洋島嶼国，米，豪，国際機関等より320人の内外の関係者が参加	25(～29)　国際農業開発基金（IFAD）第11回総務会開催（於ローマ）。IFAD設立十周年記念式典。第3次増資交渉のための協議会の設立を決議
	26　中南米地域大使とJICA幹部懇談会	25(～28)　モーリシャスのジャグノート首相来日。従来よりの経済協力問題に加えて，貿易，投資，観光面での一層の関係強化のための具体策を協議	
	28　運営審議会（農林業部会）開催		

月	国際協力事業団に関する主な事項	国際協力に関する主な事項	
		日　本	世　界
2月	2　運営審議会（鉱工業部会）開催 5　運営審議会(移住部会)開催 9　運営審議会(社会部会)開催 9(～14)　農林業協力プロジェクトリーダー会議（アジア・大洋州地域）開催（於マレイシア） 12　世界保健機関（WHO）中島宏次期事務局長来訪，総裁と会談 13(～20)　サイクロン災害のヴァヌアツに国際緊急援助隊を医薬品供与と被災状況調査のため派遣 14(～21)　洪水災害のブラジルに国際緊急援助隊を医薬品供与と被災状況調査のため派遣 15(～25)　保健医薬協力プロジェクトリーダー会議開催 16　宇野外務大臣来訪。国際協力センターと本部を視察 19　第3回海外開発青年送出 22(～24)　昭和62年度在外事務所地域別会議開催（於シンガポール)。在外事務所機能強化が目的	4　日本・SAARCシンポジウム開催（於外務省)。討論のテーマは「SAARC諸国の現状と日本との関係強化」 24(～25)　竹下総理大臣，韓国訪問。盧大統領就任式に出席。引き続き同国政府首脳と国際情勢や二国間関係について意見交換	

月	国際協力事業団に関する主な事項	国際協力に関する主な事項	
		日　本	世　界
3月	1　運営審議会総合部会開催 2(～7)　農林業協力プロジェクトリーダー会議開催（於ブラジル）	6(～10)　ザンビアのムワナンシク外相来日，アフリカの債務問題（OAU主催の債権国会合開催予定を説明），南部アフリカ問題解決のため，わが国の支援を要請	
	9(～11)　中米人造りセミナー開催（於国際協力センター）。コスタ・リカ，エル・サルヴァドル，グァテマラ，ホンデュラス，ニカラグァより10人の代表者が参加。経済開発と人造り，中米における人造りの現状と課題について討議	8(～10)　外務省，中南米地域経済協力連絡会議開催（於リオデジャネイロ）。累積債務問題に関して，無償及び円借款供与の拡充，資金還流措置の早期実施，円借款の大幅な条件緩和等を提言	
	10　機構改革，社会開発協力部に特別調査室を設置。所掌事務はパナマ運河代替案調査関係。従来の企画部特別調査室は廃止		12　ADBが45億円の日本特別基金設立を発表
	15　青年海外協力隊昭和62年度第3次隊派遣壮行会		15(～21)　第2回アジアNGOフォーラム開催（於東京他）。「適正技術を通したアジア民衆とNGOの自助努力の実態」「日本のNGOの役割とアジアのNGOとの連携」等の課題について討議
	17(～18)　国内機関長会議開催		

月	国際協力事業団に関する主な事項	国際協力に関する主な事項	
		日　本	世　界
3月		20(～21)　第3回日韓外相定期協議（於ソウル）。1989年から5年間で8000人の相互交流計画検討。日韓賢人会議の1988年7月開催に合意。その他，朝鮮半島情勢について意見交換	
	23　ルワンダのハビヤリマナ大統領，TIC（幡ヶ谷）を訪問。アフリカ13カ国の研修員を激励	21(～26)　ルワンダのハビヤリマナ大統領来日。経済・技術協力の一層の強化を要請。これに対してわが国もアフリカ諸国の国造り，人造りへの支援と人物交流を通じての対アフリカ外交の推進を表明	21(～23)　米州開発銀行（IDB）第29回年次総会開催（於カラカス）。IDB第7回増資問題等を討議。（JICA牟田口副総裁出席）
	24　アルゼンティンのピュグリエス下院議長来訪，総裁と会談		
	25　インドのフセイン日印調査委員会印側委員長来訪，総裁と会談		
	28　ラオスのプウネ副首相来訪。総裁と会談，TIC訪問		
	29　ホンデュラスのマルティーネ文部大臣来訪，総裁と会談		
	31　機構改革，企画部人材確保対策室の廃止及び海外移住研修所の機能停止	31　外務省，昭和62年度版経済協力評価報告書を公表	

国際協力事業団年報（1988）

昭和63年10月30日　発行

監　　修　　国際協力事業団
東京都新宿区西新宿2丁目1番地1号
新宿三井ビル
〒163　電話　03(346)5311

発　　行　　財団法人 国際協力サービス・センター
東京都新宿区市谷本村町42番地
経済協力センタービル
〒162　電話　03(355)6441

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。　　印刷　㈱勝美印刷
©1988　国際協力事業団　Printed in Japan
ISSN　0914-5419

JICA

87